



■ 名 前 (ふりがな)	マーク・デュッペンターラー 他5人
■ グループ名	B & G新潟海洋クラブ
■ 学校名	American School In Japan (調布市)
■ 学 年	中等部3年生
■ 年 齢	13歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	三富 憲 (中3) 岡田健太郎 (中3) 倉島正舟 (中3)・・・写真撮影 ジャスミン (中2) 皆海洋クラブのヨットの仲間

■ レポートした場所	新潟市内
■ レポートの題名	新潟市の海辺・川辺の昔と今
■ 内 容	<p>僕達は5人で相談をして、新潟市の掘と海岸のことを調べることにしました。それは昔の新潟の町は、堀だらけだったという話を聞いたからです。おじいさんがベネチアへ行ったとき昔の新潟の町とそっくりだと思ったそうです。</p> <p>僕達はそんな話を聞いても全然ピンときませんでした。いまの町には堀など何も無いからです。どうして無くなったのかいろいろ聞かせてもらいました。</p> <p>明治や大正の頃は、町の中には縦横に堀があって船でお米や荷物を船で運んでいたそうです。それにうんこ（人糞）を運ぶ船も浮いていて、皆の家のトイレの下からくみ出したうんこを桶に入れ、それをリアカーに積んで堀のそばまで運んできて船にあけたそうです。</p> <p>船がうんこで一杯になると、その船を漕いで堀から信濃川へ出て田圃まで運んでお百姓さんに売ったそうです。うんこがお金になりました。今は皆水洗トイレになったからうんこやさんはいなくなりました。</p> <p>昔はトラックなど無かったから、米など重いものをたくさん運ぶときは船に積んで堀の中を行ったり来たりしていたそうです。</p> <p>新潟の町の堀のメインストリートは、西堀でした。堀には綺麗な水が流れていて、両側には柳と桜がありました。だから昔は新潟のことを水の都と呼んでいました。</p> <p>子供たちが泳いでいた川が40年前みんな埋め立てられてしまいました。埋めるとき地下2階は駐車場、地下1階は西堀ローサという商店</p>

街になりました。お店は70件、車は300台も駐車できます。駐車場からは三越デパートや大和デパートに階段でつながっています。

信濃川のそばに大きな白山神社があります。その回りは一番埋め立てられて堀が無くなったのです。今また昔の堀を懐かしがって堀が巡っていました。コイが泳いでいたその堀も今はまったくありません。

聞いた話では、昭和39年に国体が開かれるとき道路が狭いと埋め立てられて堀が無くなったのです。今また昔の堀を懐かしがって堀を作ろうと運動をしている人がいると新聞に出ていました。

新潟市には関屋浜海水浴場があり、浜茶屋が20軒並んでいます。今ではこの町の一番大きな海水浴場ですが、60年前はアサリがたくさんいて、足の指で挟んで取ってそれを砂利で焚き火をして、焼いて食べたそうです。今はテトラポットで仕切られたおかげでアサリなど一個もいません。昔の子供は、町の中で泳いだり、海でアサリを取ってそれを食べたりできてよかったなと思います。自動車を見ていると、昔のような堀のある町がいいと思っても無理だというのがよく分かります。自分でアサリを取って食べたいです。

白山神社の回りの一番堀には、コイが泳いでいたそうですが、だれも釣らなかったのかと思います。僕だったら朝早く行ってこっそり釣ると思います。

今の生活はとても便利ですが、堀のあった頃の新潟の町にも住んでみたい気持ちです。